

# OECDがパリから再び山形へ！ 山形県ルーラルイノベーションセミナー YAMAGATA Rural Innovation Seminar

山形県のルーラルイノベーションに関する取組みに着目し、令和5年1月に本県を訪れたOECD（経済協力開発機構）が調査結果の中間報告を行うため、再び山形県を訪れます。  
農村振興に対する国際機関の幹部の考え方を直接聞ける貴重な機会ですので、是非ともご参加ください。  
※本セミナーは農林水産省が行う「農村プロデューサー養成講座」の一環として開催します。

日時

令和6年 1月11日（木） 14:00～16:00



令和5年1月調査時の様子



■ 特別講師  
OECD CFE  
(経済協力開発機構  
起業・中小企業・地域・都市センター)

ドロテ・アラン・デュプレ 課長

「OECDによるルーラルイノベーションに関する調査の趣旨」

ルーラルイノベーションの取組みは、都市部で先行しているイノベーションを農村部でも起こすことで農村地域の持続的発展を目指すもので、OECDでは加盟国中の5か国（カナダ、日本、スイス、スコットランド、アメリカ）により、2019年から調査を実施。日本の調査では地域資源を活かした地域の取組みや事業継続で重要な人材育成に注目。特に地域づくりの取組みや人材育成で全国的に実績のある高橋信博氏の取組みに焦点を当てたことから、山形県が調査対象地として選定された。

会場 入場無料

文翔館 議場ホール（先着約200名）  
または オンライン  
山形市旅籠町3丁目4-51

！文翔館とは  
国の重要文化財「山形県旧県庁舎及び  
県会議事堂」の愛称



文翔館



議場ホール

申込方法

下記URLまたはQRコードから申込み  
[https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList\\_detail?tempString=oeedseminar2023yamagata](https://apply.e-tumo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempString=oeedseminar2023yamagata)

<申込期限> 令和5年12月22日（金）17:00

※会場の収容人数に限りがあるため現地会場での参加は先着順とさせていただきます。



参加  
申込み

問合せ先 山形県農林水産部農村計画課 TEL 023-630-2506 / FAX 023-630-2509

令和6年 1月11日(木)

# 山形県ルーラルイノベーションセミナー

## プログラム

13:00 開場 (13:30 オンライン配信開始)

14:00

開会 主催者挨拶

■山形県知事 吉村 美栄子

14:05

基調講演

■OECD ドロテ・アラン・デュブレ 課長

## OECDの取組み：地域政策、農村政策の視点から

■ドロテ・アラン・デュブレ

OECD (経済協力開発機構) CFE地域開発・マルチレベルガバナンス課長

CFEの地域開発およびマルチレベルガバナンス部門の責任者であり、OECDの地域開発政策委員会の取組を推進。地域パフォーマンス、地域格差の緩和、農村開発、地域の魅力、地方分権化、公共投資、地域・地方財政などの分野における地域開発政策と多層ガバナンスを推進する取組みに関して、OECD加盟国およびパートナー政府への支援の提供を行っている。



14:25

山形県の取組み紹介

■山形県 農林水産部 農村計画課長 草 大輔

## 山形県の農山漁村地域づくりプランナーの取組

14:35

有識者の視点

■明治大学 小田切 徳美 教授

## 農村プロデューサーとルーラルイノベーション (地域づくり) ※録画映像付

■小田切 徳美 (おだぎり とくみ)

明治大学農学部 教授

神奈川県生まれ。専門は、農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。東京大学助教授等を経て、2006年より現職。国内外の農村を歩き、集落レベルから国の政策レベルまでの実態を研究し、政策提言を行っている。農村プロデューサー養成講座講師。地域づくり等に係る調査で何度も来県している。



14:55

Japan Studyの中間報告

■OECD 野々村 圭造 分析官

## 地域発ルーラルイノベーションに必要な農村プロデューサーの役割

■野々村 圭造 (ののむら けいぞう)

OECD (経済協力開発機構) CFE地域開発・マルチレベルガバナンス課政策分析官

OECD/CFE(起業・中小企業・地域・都市局)政策アナリストとして、農村イノベーションおよび第一次産業関連のプロジェクトに従事。2021年9月より農林水産省からOECDへ出向中。農林水産省では土地改良を中心に農業政策や農村政策も幅広く担当。2021年の農村プロデューサー養成講座開始時の担当。



15:25

パネルディスカッション

## 農村の未来を持続可能とするルーラルイノベーションとは

■パネラー：

OECD CFE ドロテ・アラン・デュブレ 課長

野々村 圭造 分析官

農林水産省 長田 恵理子 農村政策推進室長

山形県 高橋 信博氏

末永 玲於氏

■高橋 信博 (たかはし のぶひろ)

山形県農村づくりプロデューサー  
山形県白鷹町生まれ。農業土木の技術者として、県内の農業農村の振興及び基盤整備の推進に携わり、地域づくりの普及と実践活動を支援してきた。県内外1,000か所以上の地域に関わり、ワークショップ形式を用いた集落の話し合いのノウハウを有する。

■末永 玲於 (すえなが れお)

株式会社ローカルインキュベーター 代表取締役  
富山県生まれ。2019年より山形県村山市を中心に「関係人口創出」事業に携わり、その縁がきっかけで村山市に移住。慶應義塾大学経済学部在学中に起業。



16:00

閉会